

企画展プレスリリース「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界」 茨城県近代美術館

平素より当館の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

標記の件につきまして、本書のとおりご案内いたします。

1 展覧会名 企画展「乙女デザイナー—大正イマジユリィの世界」

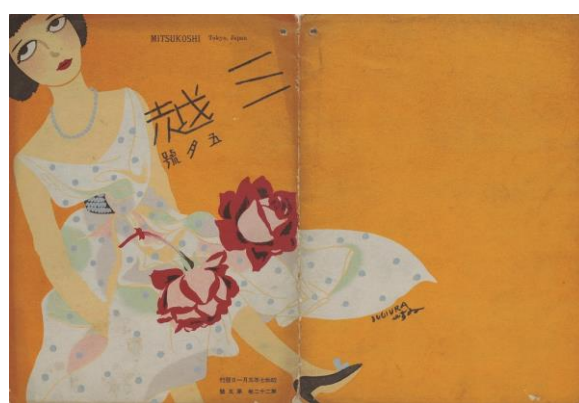
2 会 期 平成 28 年 7 月 16 日（土）～9 月 25 日（日）

3 展覧会概要（資料 2～3 頁参照）

イマジユリィとは、大衆的な複製としての印刷・版画の総称です。アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコ様式の杉浦非水、竹久夢二の少女趣味の世界など、大正期に絶大な人気を集めた「かわいい」商業デザイン・イラストレーションを紹介します。

4 出品点数、主な出品作品（資料 3，7 頁参照）

約 400 点（装幀・挿絵・デザイン画・広告・ポスター・絵はがき・版画など）



左：伊藤としを 絵封筒 大正末～昭和初期 個人蔵
中央：竹久夢二「汝が碧き眼を開け」（セノオ楽譜 56 番 7 版表紙） 昭和 2 年 個人蔵
右：杉浦非水「初夏」『三越』22 巻第 5 号表紙 昭和 7 年 個人蔵

5 見どころ（資料 4 頁参照）

- (1) とにかく「かわいい」！ 乙女心をわしづかみにした印刷物たち。
- (2) えっ、あの画家も？！ 有名画家が手がけた有名小説などのブックデザイン。
- (3) 大震災から復興へ。世相を反映したファッションナブルなモダン・ガールのイメージ変遷。
- (4) 音楽と映画と演劇と—大衆文化が開花した、エンターテインメントの時代。
- (5) なつかしいのに、新しい。今みても新鮮なデザインの力。

《問い合わせ先》茨城県近代美術館

Tel:029-243-5111 / Fax:029-243-9992 / E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展覧会担当：美術課 花井 / 広報担当：企画普及課 平川

1 展覧会名

乙女デザイン—大正イマジユリィの世界

2 主催等

主催 茨城県近代美術館

企画監修 山田俊幸（元・帝塚山学院大学教授）

後援 水戸市，朝日新聞水戸総局，茨城新聞社，株式会社茨城放送，NHK水戸放送局，産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，日本経済新聞社水戸支局，毎日新聞水戸支局，読売新聞水戸支局

協力 大正イマジユリィ学会

企画協力 株式会社キュレイターズ

3 会期

平成 28 年 7 月 16 日（土）～平成 28 年 9 月 25 日（日）

休館日：毎週月曜日 ※ただし祝日の場合開館，翌日休館

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで）

4 会場

茨城県近代美術館

5 入館料

一般 980（850）円，高大生 720（600）円，小中生 360（240）円

※（ ）内は 20 名以上の団体割引料金

※満 70 歳以上の方，障害者手帳等をご持参の方，高校生以下（夏休み期間を除く土曜日のみ）は入館無料

6 展覧会概要（643 文字）

イマジユリィとは、「イメージ図像」を意味するフランス語ですが，装幀（ブックデザイン），挿絵，ポスター，絵はがき，広告，漫画などの大衆的な複製としての印刷・版画の総称でもあります。複製技術が発達した大正時代，誰もが自分のものにでき，手にとって間近に愉しむことができる印刷物は，美術を運ぶ容れ物として，重要な意味を持つようになりました。藤島武二や岸田劉生ら著名な画家も，本の装幀を数多く手がけ，またアール・ヌーヴォー様式の橋口五葉，アール・デコの図案に取り組んだ杉浦非水^{ひすい}や小林かいちなど，当時の乙女たちの心をとらえたデザイナーが次々と登場しました。

竹久夢二や高島華宵^{かしょう}にみられる少女趣味。小村雪岱^{せつたい}の洗練された江戸趣味や，橋小夢^{さゆめ}らの怪奇幻想美を秘めた時代の雰囲気。恩地孝四郎，古賀春江らに代表される都市のモダニズム。また関東大震災やプロレタリア運動といった社会状況を映すように，先鋭化したデザインが生まれました。それらは演劇，映画，音楽とつながって，商業美術に裾野を広げていきました。本展ではさらに，絵封筒や便箋，シーリングスタンプなど，女学生の間で流行したお手紙道具にみられる当時の少女文化にも注目します。

大衆に浸透し、絶大な人気を集めたさまざまな印刷物。網膜の奥深く記憶される象徴的な図像として、それらはなによりも、人々の憧憬のすがたであり欲望のかたちであったといえるでしょう。大正期の商業デザイン・イラストレーションを中心に、なつかしく、いまなお新しい「乙女デザイン」の世界を紹介します。

【広報文1】(58字)

橋口五葉、杉浦非水、竹久夢二など大正期に絶大な人気を集めた「かわいい」商業デザイン・イラストレーションを紹介します。

【広報文2】(118字)

イマジユリィとは、大衆的な複製としての印刷・版画の総称です。アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコ様式の杉浦非水、竹久夢二の少女趣味の世界など、大正期に絶大な人気を集めた「かわいい」商業デザイン・イラストレーションを紹介します。

【広報文3】(185字)

イマジユリィとは、装幀・挿絵・絵はがき・ポスター・広告・漫画など大衆的な複製としての印刷・版画の総称です。本展ではアール・ヌーヴォー様式の橋口五葉、アール・デコ様式の杉浦非水、竹久夢二の少女趣味の世界、さらに女学生の間で流行したお手紙道具にみられる当時の少女文化にも注目します。大衆に浸透し、絶大な人気をあつめた「かわいい」商業デザイン・イラストレーションを紹介します。

7 出品点数、章立て、主な出品作品

装幀・挿絵・デザイン画・広告・ポスター・絵はがき・版画など約400点

第一部 大正イマジユリィの13人

藤島武二/杉浦非水/橋口五葉/坂本繁二郎/竹久夢二/富本憲吉/高島華宵/
広川松五郎/岸田劉生/橘小夢/古賀春江/小林かいち/露谷虹児

第二部 さまざまな意匠

エラン・ヴィタル（生命の躍動）のイマジユリィ
浮世絵のイマジユリィ
震災のイマジユリィ
子ども・乙女のイマジユリィ
怪奇美のイマジユリィ
京都アール・デコのイマジユリィ
尖端都市のイマジユリィ
新興デザインのイマジユリィ
大衆文化のイマジユリィ

第三部 少女お手紙道具の世界

絵封筒・便箋・シーリングスタンプ

8 展覧会の特徴と見どころ

(1) とにかく「かわいい」！ 乙女心をわしづかみにした印刷物たち。

アール・ヌーヴォー様式の橋口五葉，アール・デコの図案に取り組んだ杉浦非水や小林かいちなど，当時の乙女たちの心をとらえたデザイナーが次々と登場した大正時代。とりわけ多くの乙女心をわしづかみにしたのが，竹久夢二です。挿絵や書籍の表紙を飾った夢二の美人画は，「こんな女性になりたい」と願う少女たちの憧れそのものでした。本展では，絵封筒や便箋，シーリングスタンプなど，女学生の間で流行したお手紙道具にみられる当時の少女文化にも注目します。

(2) えっ，あの画家も？！ 有名画家が手がけた有名小説などのブックデザイン。

機械による大量複製技術が発達した大正時代，誰もが自分のものにでき，手にとって間近に愉しむことができる印刷物は，美術を運ぶ容れ物として，重要な意味を持つようになりました。藤島武二や岸田劉生ら著名な画家も，本の装幀を数多く手がけています。「あの有名な小説は，この画家による装幀だった！」という発見も本展の楽しみのひとつです。

(3) 大震災から復興へ。世相を反映したイメージもたくさん生まれました。

この展覧会で紹介する印刷物は，単に「かわいい」だけではありません。とても「モダン」なのです。大正12年（1923）に起こった関東大震災は，大きく都市の風景を変えました。大正の終わりから，昭和初期の帝都復興によって甦った東京は，煉瓦造りの街並みから，鉄筋コンクリートのモダン都市へ。三越など，近代的なデパートの刊行物を飾るファッショナブルなモダン・ガールのイメージの変遷もご覧いただけます。

(4) 音楽と映画と演劇と—大衆文化が花開いた，エンターテインメントの時代。

浅草オペラに，宝塚少女歌劇団，松竹キネマ。音楽と演劇が融合し，映画という新しい大衆文化が花開いた大正時代。興業を知らせるポスターやチラシ，プログラムには，きわめて斬新なデザインが採用されました。レコードの普及，ラジオ放送の開始によって，音楽はいつそう身近なものとなり，一般の民衆が自ら楽器を演奏して愉しむための楽譜書も数多く刊行されています。竹久夢二ら人気画家たちが手がけたそれらの表紙をご覧いただけます。

(5) なつかしいのに，新しい。今みても新鮮なデザインの力。

この展覧会の魅力を一言で言い表すとすれば，「なつかしいのに，新しい」。これらは一見相反する要素ですが，大正から昭和初期の印刷物デザインには，それぞれの魅力が融合し，見事に両立しているものが多いのです。大正時代は，明治と昭和の間。近くて遠い「江戸」の浮世絵にみられる洗練は，郷愁を伴ってリバイバルし，一方では西洋の最新情報がいち早く流行に取り入れられました。和と洋，古いものと新しいものが絶妙に混じり合った当時の「乙女デザイン」は，今みても新鮮なデザインの力で，現代の乙女の心をもわしづかみにしてくれることでしょう。

9 会期中のイベント

(1) オープニング・セレモニー

日時：7月16日（土）9：10～

内容：一般参加者も交えた関係者によるテープカットイベント。併せて、本展監修者・山田俊幸氏によるオープニング・トークがあります。

参加者募集：先着50名様（オープニングセレモニー無料ご招待）

申込方法：来館または往復ハガキ（往信用文面に希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を返信用宛名面に宛先を明記のうえ、当館「オープニング係」宛）

(2) 大正・乙女デザイン研究所長によるギャラリートーク「乙女デザインの魅力」

日時：7月16日（土）14：00～（申込不要、要企画展チケット）

講師：山田俊幸氏（元・帝塚山学院大学教授・本展監修者）

(3) 本や手紙にまつわるトーク&ワークショップ

①松尾たいこ氏ギャラリートーク&トークショー「ブックデザインとイラストレーション」

日時：8月7日（日）14：00～

会場：地階講堂・二階企画展示室

定員：250名（申込不要・要企画展チケット）

講師：松尾たいこ氏（イラストレーター・デザイナー）

内容：角田光代や江國香織ら現在活躍中の女性作家達からの人気が高く、本の表紙画を数多く手がけてきたイラストレーターの松尾氏をお招きし、大正期の本や広告、「乙女ファッション」の魅力、そして「本」にまつわるデザインの面白さについて、お話しをうかがいます。展示室でのギャラリートークと講堂でのスライドトークの二本立て。作り手の視点から見た「ブックデザインとイラストレーション」のお話しです。

②ワークショップ「乙女のお手紙道具、文箱をつくる」

日時：8月21日（日） 午前の部 10：00～12：00／午後の部 13：30～15：30

講師：大西景子氏（貼箱ブランドBOX&NEEDLE代表）

内容：大切なお手紙を入れるためのかわいい「一筆箋箱」をつくれます。

定員：各回30名（要申込・要企画展チケット）

申込方法：往復はがき（往信用文面に希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、午前・午後の別を、返信用宛名面に宛先を明記）または来館による申込み。1通につき4名まで可。参加当日は展覧会入場券が必要。

申込締切（先着順）：8月12日（金）

(4) 担当学芸員によるギャラリートーク

日時：9月4日（日）14：00～

定員：100名（申込不要・要企画展チケット）

10 その他特典

(1) しおり割引

ブックデザインや挿絵など、「本」にまつわる印刷物デザインに注目する本展覧会にちなみ、乙女デザイン展の広報用しおりを県内書店にて配布。しおりを持参した方は団体割引料金で入館できます。

(2) きもの・ゆかた割引

大正期のレトロでかわいい印刷物の魅力を紹介する本展にちなみ、着物・浴衣でご来場した方は団体割引料金で入館できます。ぜひおしゃれをして、ご来館ください。

11 問い合わせ先

茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1

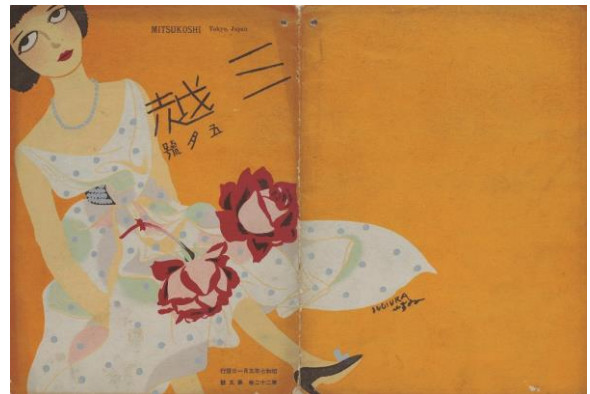
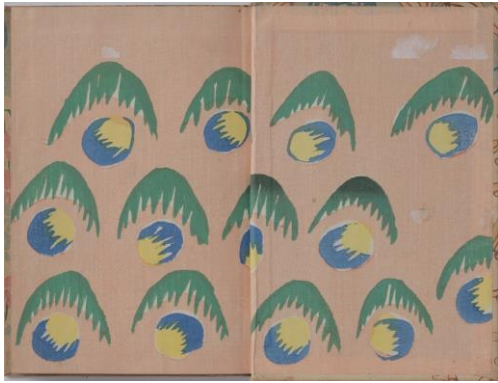
Tel:029-243-5111 Fax:029-243-9992

E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp

展示担当：美術課 花井 / 広報担当：企画普及課 平川

出品作品図版

- ※1 このページ及び1ページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。
※2 画像には、作家名・作品名・制作年・所蔵を必ず入れてください。



- 上段左：竹久夢二『歌劇カヴァレリア・ルスチカナ交響間奏楽 アヴェマリア』セノオ楽譜 333 番表紙 大正 13 年 個人蔵
上段右：竹久夢二「涼しき装ひ」『三越』15 卷第 6 号挿画 大正 14 年 個人蔵
中段左：藤島武二 与謝野晶子著『晶子短歌全集 第一』6 版見返 大正 15 年 個人蔵
中段右：小林かいち「二号街の女」絵はがきセット 大正 14-15 年頃 個人蔵
下段左：高橋春佳 絵はがきセット 昭和初期 個人蔵
下段右：杉浦非水「初夏」『三越』22 卷第 5 号表紙 昭和 7 年 個人蔵